

大津市の6つのキーワード

1. 主体的・対話的で深い学び 2. 道徳教育の充実 3. 体力づくり 4. 指導改善(組織的・計画的) 5. 育ちと学びを支える連携 6. 組織的体制の充実

学校目標

「明朗 健康 自主自立」

今年度の重点目標

1. 人間関係形成力の育成 2. 基礎学力の確実な定着 3. 体力づくり 4. ふるさと石山愛の醸成

大項目	中項目	小項目	自己評価		学校関係者評価		今後の改善に向けて	
			小項目の平均	中項目の評価	現況	評価		ご意見
主体深い・学対話的	学級・学年づくり	学級目標を設け、支持的風土を育てる学級・学年集団づくりを実践しているか	2.5	2.3	FBC(ふわふわ言葉がいついばいのBESTなCLASS)なクラスになろうと呼びかけ、子どもたちの自主的な活動で各クラス様々な取り組みを行うことで、よりよい学級・学年にしていこうという意識が高まった。また、話を聞く姿勢も定着し、学習の見通しを持って落ち着いた中で学習できている。今後も、だれもが安心して学べる環境をあらゆる面から整えていきたい。	3.0	・学校目標に向かって大変努力していて、授業に向かう態度・意欲から学級の育ちを感じる。授業風景より学級経営がよくわかった。楽しそうに授業を受けている。 ・以前のステップアップ教室があればよい。 ・具体的にわかりやすい「ふわふわ言葉」や声かけの取り組みは、育ちに出てきている。 ・基礎基本の大切さがしっかり取り込まれている。	・引き続き、心の居場所づくり、学習規律、学習環境整備など総合的に考える。 ・家庭学習においても、読み書き計算の繰り返し学習を徹底するなど習慣化に向けて保護者への啓発、児童への指導に努める。
		基本的生活習慣と学習のきまりの定着を図ることができたか	2.2					
		心の居場所づくりができていくか	2.3					
	基礎・基本の習得	学習習慣や基礎・基本的な学習内容を確実に身に付けさせているか	1.9					
		コミュニケーション能力の育成に努めているか	2.3					
家庭学習を習慣化させることで、確かな学力の定着と向上を図れているか	2.1							
道徳教育の充実	資料の整備、充実と活用	生命を尊重する心や人権尊重などの道徳実践力を育てる活動の実施に努めているか	2.3	2.1	共通理解・共通実践で子どもたちの心に響く実践(授業)を積み重ねてきた。また、学習指導要領改訂をふまえて、積極的に授業公開を行い、研修会へ参加するなど、準備を整えている。道徳教育推進教員を中心に実践を積んでいきたい。いじめをなくす・ふるさと意識を養うため、石山式部っち(ゆるキャラ)を制作し、地域の人・もの・自然とのふれあいを大切にしたい教育活動を推進していく。	2.6	・出前授業や専門的な授業はすごく勉強になる。 ・今後、教科化される「道徳」の評価や指導計画・内容がさらなるバージョンアップを期待している。 ・道徳の評価は、「心」の教育なのでそぐわない。それより家庭、地域の連携や大人の「道徳」が問われる。 ・式部っちで、郷土愛を育てていくこと、地域で子どもたちが育てられていることを保護者への啓発が重要。	・教科化に向けた資料の作成・保管・整理を行い、道徳の授業の充実を図る。 ・全教育活動において道徳教育を意識しながら取り組む。 ・「石山式部っち」を有効活用し、ふるさと石山の醸成に努める。
		道徳教育推進教員を中心として、道徳の授業研究や資料の開発・交流を行っているか	1.9					
		児童の感性や言葉の力を育む読書の推進が図れたか	2.1					
	体験活動(感動体験)	地域資源の教材化や人材活用・外部講師の招聘などによる体験活動の充実が図られているか	2.2					
		活動前・中・後の指導の充実が図られたか	2.2					
豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力の基盤、子どもの成長の糧として役割が果たせているか	2.2							
体力づくり	体力づくりの取り組みと工夫	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に努めているか	2.4	2.4	今年度も「ラダー」を取り入れた活動や体育の宿題を継続して行った。食育では、委員会の取り組みがさらに活発になった。体育科の授業はもちろん、自分の身体についての意識を高める取り組みを継続していく。保護者の安全への意識(食物アレルギーや学校設備)が高く、要望も多いので、安全指導や管理のさらなる向上が必要である。	2.6	・毎日宿題を取り入れているところがよい。 ・体力作りの取り組み内容を実施されているが、学区の課題である家庭での食事(食育)、保健との関連付けた取り組みが必要ではないか。 ・昨年取り組まれたことを今年度も引き続き実施されているのがすばらしい。積み重ねが大切。幼稚園でも継続しなくてはならないと思わせてもらっている。	・ラダー運動の一つの柱として体力づくりを目指す。 ・新体力テストの結果を体力向上委員会で検討し、指導方法の研修を行う。 ・児童自らが、身近な危険に対する的確な判断ができる能力を育てる。
		進んで自分の体を鍛えようとする環境づくりができたか(体育の宿題・ラダー等)	2.4					
		運動の楽しさを味わい、進んで運動に親む児童が増えたか	2.3					
	食育・保健・安全指導	食に対する正しい知識や関心の育成が図られているか	2.3					
		健康な生活の習慣化を行うことができたか	2.1					
平素から学校全体で安全管理、安全教育、健康指導の充実、徹底が図られているか	2.3							
(組織的・計画的)	校内研究	学びの自覚を促し、主体的な学びを生み出す授業改善ができたか	2.2	2.2	学びの自覚を促す授業づくりを目指し、各学年で研究授業を行った。主体的な学びを生み出す授業について研究会を行い授業改善に努めた。学年の子どもたちを多くの教員で見ているので、協力的な指導が充実できた。複数の教員が関わるため、時間や教科を決めることが難しく、教員の持ち味を必ずしも出していないこともある。	2.9	・学年の先生たちで授業の進め方を連携されている事はよいことだと思う。 ・幼小での研究実践が行われ、成果として子どもたちに力になっていると感じる。	・継続して、高学年では、引き続き理科・書写等の教科指導を担任外の職員が関わり、情報交換、連携に綿密に取り組んでいく。
		ICT活用による校務の効率化と教育活動の質の改善に努めたか	2.2					
		指導力向上のために校内研究や校外での研修会への参加を積極的にしているか	2.2					
	学年担任制	教員との人間関係の広がりや学習の深まりによる子どもたちの成長が見られたか	2.3					
		職員のチーム意識が高まり、多面的な児童理解に基づく組織的・協力的な指導が充実できたか	2.5					
		教員の専門性や持ち味を生かし、質の高い指導ができたか	2.0					
働き方	校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善ができたか	2.2						
支えちと連携	家庭・地域との連携	保護者の子育てに対する支援や悩みを聞く教育相談を実施しているか	2.4	2.4	いじめ対応、教育相談、PTA活動等で保護者とのつながりを大切にできた。保護者アンケートでは、よい評価をいただいている。今後も保護者の不安や相談に誠実に対応していきたい。学びに向かう力推進事業では、幼小連携の大切さを実感した。今後も幼小のスムーズな接続を意識した取り組みを大切にしたい。	2.9	・いつも保幼小中の交流をされておられよいことだと思う。 ・保幼小中連携や地域連携が大変うまくできている。 ・中学校区内の私立保育園も含め保幼小中連携は、密に活動を重ねておられ、その成果が出ている。	・授業参観や懇談会の持ち方をPTAとも協議し考えていく。 ・日々の実践を、HPや各種通信を通じて発信していく。 ・共同授業・保育研究会を行い、保幼小中の育ちのつなぎを意識していく。
		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会を実施しているか	2.5					
		保護者(PTA)・地域と連携を取りながら、安心・安全な学校作りを目指しているか	2.4					
	保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業等実施できているか	2.7					
		校種間の定期的な連絡会や合同研修会を実施しているか	2.8					
校種間の授業公開や一貫的なカリキュラム研究・体力向上の取り組みなどを積極的にしているか	2.6							
組織的・計画的	生徒指導・教育相談機能の確立	石山小のあいことばを共通理解、共通実践できているか	2.7	2.7	生徒指導、いじめ対策、教育相談等の担当者、管理職、養護教諭がそれぞれの立場で児童や保護者と関わり、得た情報を担任を含め全体で共有し対応してきた。チームとして一人ひとりの課題に迅速且ついねいに対応できた。支援を必要とする子について、関係機関と連携し関係者で共通理解していくことに努めた。保護者との情報交換やきめ細い支援を引き続き心がけていきたい。	2.9	・念願の式部っち誕生がよかった。活躍を願う。 ・日頃からきめ細かく組織的に対応や系統的な指導ができていく。	・今年の体制を維持しつつ、落ち着いた雰囲気での学校づくりに励む。 ・個別指導計画を生かした支援を行い、効果的な支援体制を敷いていく。保幼小中で連携し、一貫した支援を継続した保護者との関わりをもつ。
		生徒指導、いじめ対策の組織的な対応と継続的な指導ができていくか	2.7					
		SC関係機関と連携した教育相談の充実ができていくか	2.6					
	特別支援教育の充実	保護者と連携し、個別指導計画の作成が適切になされているか	2.3					
		組織的・計画的な特別支援教育体制が確立されているか	2.4					
関係機関と連携した相談体制の充実が図られているか	2.5							

※評価は、「3」・よくあてはまる 「2」・あてはまる 「1」・あまりあてはまらない 「0」・あてはまらない